今号に「ぐんま広報11月号」が折り込まれています。ぜひご覧ください。

群馬県議会だより 第110号

題字は群馬県立前橋女子高等学校１年生　書道部　後藤（ごとう） 桃子（ももこ）さんの書道作品です

発行／群馬県議会　編集／県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL 027-898-2891（政策広報課）



第３回前期定例会開催

富弘美術館（みどり市）

みどり市東町出身の詩画作家 星野富弘さんの作品を展示している、草木湖畔にたたずむ美術館です。1991年に開館した同美術館は、改修工事を経て、今年8月にリフレッシュオープンしました。

素朴で美しい詩と透明感ある水彩画が調和した星野さんの作品とともに、道の駅にも登録されている建物からは、旧東村の自然を模した前庭と草木湖面の景色を同時に楽しむことができます。

第３回前期定例会のあらまし

▶令和８年第３回定例会は、９月15日から12月11日までの88日間にわたって開催されています。
今回は、10月８日までの前期定例会についてお知らせします。

※前期定例会の詳細（議案、賛否など）は、こちらの二次元コードから▶

▶議　案

９月15日には、知事から、子育て・教育・医療・福祉の推進や、県内産業の活性化・猛暑対策等の経費として、136億4,177万円を増額する一般会計補正予算案など９議案が提出されました。

９月18日と９月28日には人事案件各１議案が、10月８日には令和７年度決算の認定など６議案が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、意見書案３議案、決算特別委員会の設置に係る１議案の計４議案が発議されました。

▶質疑及び一般質問

12人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が交わされました。（３頁参照）

▶常任委員会・特別委員会

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査を行いました。

▶議　決

議決は、９月18日、９月28日及び10月８日に行われました。

知事から提出された議案は、決算特別委員会に付託された決算に係る議案を除き、全て可決・承認・同意されました。

議会から発議された４議案は、いずれも可決されました。また、５件の請願が採択されました。

請願・陳情の手引きの詳細はこちらから
※オンラインによる提出が可能となりました

▶可決された主な議案

○令和８年度群馬県一般会計補正予算（第４号）
○群馬県一時保護委託者の登録等に関する基準を定める条例

▶可決された意見書

○新基本計画実装・農業構造転換支援事業（共同利用施設の再編集約・合理化）に関する意見書
○軽油引取税の課税免除制度の継続もしくは恒久化を求める意見書
○直轄国道事業の推進並びに予算確保に関する意見書

常任委員会の活動
調査を本県施策の進展に役立てます

県議会に設置されている委員会では、担当する所管事項について、現場に出向いて調査活動を行っています。県の部長や課長も同行し、先進的な取組などを調査することで、今後の施策の進展に役立てています。

今号では、８月に実施した５つの常任委員会による近県及び県内調査の詳細をお知らせします。

CHECK！ 各委員会名の横にある二次元コードから調査の詳細がご覧になれます

総務企画常任委員会

委員長：森 昌彦、副委員長：中島 豪
委員：水野俊雄、あべともよ、酒井宏明、
　　大和 勲、鈴木 敦子
調査日程：令和８年８月20日（木）

①里沼（SATO-NUMA）（館林市）

【調査目的】地域振興
　令和元年度に日本遺産認定を受けた「里沼（SATO-NUMA）」を生かした地方創生の取組について調査を行いました。

②第一化成株式会社（邑楽郡千代田町）

【調査目的】グリーンイノベーションの推進
　持続可能な社会の実現に向けた環境配慮型システムを多数導入している第一化成株式会社の取組について調査を行いました。


第一化成株式会社で説明を受ける様子

健康福祉常任委員会

委員長：入内島道隆、副委員長：松本隆志
委員：井田 泉、井下泰伸、金子 渡、加賀谷富士子、
　　高井俊一郎、宮崎岳志
調査日程：令和８年８月20日（木）

東京農業大学稲花小学校（東京都世田谷区）

【調査目的】私学振興・児童福祉
　豊富な研究資源や施設を最大限に生かした先駆的な「小大連携」を実践し、志願者を引きつける学校経営・最先端の教育環境整備を行っている東京農業大学稲花小学校の取組について調査を行いました。


稲花小学校で説明を受ける様子

環境農林常任委員会

委員長：斉藤 優、副委員長：鈴木数成
委員：久保田順一郎、伊藤 清、大林裕子、
　　相沢崇文、金沢充隆、今井俊哉、清水大樹
調査日程：令和８年８月17日（月）

①倉渕町川浦地区（造林地）（高崎市）

【調査目的】林業振興対策
　林業試験場と民間企業との共同研究である、ドローンを用いた薬剤散布による下草管理現場の調査を行いました。


造林地で説明を受ける様子

②高崎市倉渕就労継続支援施設（くらぶちメロン村）（高崎市）

【調査目的】食料・農業・農村振興対策
　農業と福祉が連携した就労継続支援施設である、くらぶちメロン村の取組について調査を行いました。

産経土木常任委員会

委員長：矢野英司、副委員長：須永 聡
委員：狩野浩志、須藤和臣、本郷高明、松本基志、
　　粟野好映、大沢綾子、水野喜徳
調査日程：令和８年８月18日（火）

①中止ダム（倉渕）予定地（高崎市）

【調査目的】河川・砂防対策の促進
　利根川水系における治水対策強化の一環として国土交通省が活用に向けた調査・検討を行っている、中止ダム（倉渕）予定地の調査を行いました。


中止ダム（倉渕）予定地で説明を受ける様子

②関根発電所（前橋市）

【調査目的】公営企業の推進
　運転再開のため、発電設備の復旧工事及び関連対策工事が進められた関根発電所の調査を行いました。

文教警察常任委員会

委員長：追川徳信、副委員長：丹羽あゆみ
委員：橋爪洋介、後藤克己、安孫子 哲、
　　川野辺達也、井田泰彦、亀山貴史
調査日程：令和８年８月18日（火）

①くらぶち英語村（高崎市）

【調査目的】社会教育の推進
　外国人スタッフとともに様々な生活や体験活動を英語で行うことができる国内英語留学施設である、くらぶち英語村の取組について調査を行いました。

②小栗上野介記念館・関連史跡（高崎市）

【調査目的】社会教育の推進
　幕末の家臣、小栗上野介忠順の功績を伝えるため、本年12月の開館を目指して工事が進められている小栗上野介記念館と、その関連史跡について調査を行いました。


小栗上野介について説明を受ける様子

そのほか、７月に実施した県外調査は、次のとおりです。

総務企画常任委員会
■調査先　石川県・福井県・富山県
■日程　７月15日～17日
■調査目的・対象
①危機管理・防災対策…石川県消防学校
②デジタル技術の利活用の推進…ふくアプリ（株式会社ふくいのデジタル）
③総合行政の推進…株式会社ＴＯＹＡＭＡＴＯ
④芸術文化の振興と文化づくりの推進･･･富山市ガラス美術館（ＴＯＹＡＭＡキラリ）

環境農林常任委員会
■調査先　兵庫県・岡山県
■日程　７月22日～24日
■調査目的・対象
①食料・農業・農村振興対策…農社スマートビレッジ
②持続可能な農業や農村振興対策…サグリ株式会社
③食料・農業・農村振興対策…宮置土地改良区圃場
④林業振興対策…西粟倉村役場

文教警察常任委員会
■調査先　北海道
■日程　７月22日～24日
■調査目的・対象
①警察署等の整備促進…北海道警察学校
②教育体制の確立…北海道札幌国際情報高等学校
③社会教育の推進…市立札幌みなみの杜高等支援学校
④キャリア教育・理系人材育成…北海道庁経済部AI・DX推進局次世代半導体戦略室

健康福祉常任委員会
■調査先　岡山県・徳島県・香川県
■日程　７月15日～17日
■調査目的・対象
①障害者の自立支援、障害者の社会参加促進…株式会社ありがとうファーム
②保健医療体制の充実…徳島県立三好病院
③水道事業の基盤強化…香川県広域水道企業団
④青少年健全育成の推進…岡山県青少年総合相談センター

産経土木常任委員会
■調査先　熊本県・福岡県
■日程　７月15日～17日
■調査目的・対象
①産業立地･道路整備･上下水道対策の推進…熊本県庁
②災害復旧対策…九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター
③MICE推進及びイベント産業の振興…福岡コンベンションセンター
④産業政策…公益財団法人 北九州産業学術推進機構

CHECK！ 委員会って？

　県の仕事は、非常に幅広く複雑化しており、会期中の本会議の中だけで、たくさんの議案や必要な議決事項をきめ細かく審議することは困難です。そこで、これらを効率よく審議するため、専門的かつ詳細に審査する議会の機関として、少人数の議員で構成する委員会が設置されています。
　委員会には常任委員会と特別委員会があり、群馬県議会では現在、総務企画・健康福祉・環境農林・産経土木・文教警察の５つの常任委員会と４つの特別委員会が設置されています。

質疑及び一般質問

令和８年９月18日、24日、28日に開催された本会議では、次の議員が質疑及び一般質問を行いました。
各議員の質問の中から１問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!
下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

9月18日（金）



大和　勲　自由民主党（伊勢崎市）

▶伊勢崎南部長沼産業団地の進捗について

Q 伊勢崎南部長沼産業団地の進捗状況と今後のスケジュールについて伺いたい。

A 企業管理者
令和８年６月に正式に事業化決定し、今年度は用地取得を進めるとともに、測量調査設計業務を発注する予定である。令和９年度には同業務を完了させ、令和10～11年度には造成工事を行う予定であり、ＧＸ戦略地域に選定された場合、令和10年度から分譲公告を行う予定である。早期完成に向け、ＧＸ戦略地域の認定獲得に全力を尽くし、伊勢崎市と協力しながら事業を推進してまいりたい。



金沢　充隆　つる舞う（藤岡市・多野郡）

▶「学びの多様化学校」※1について

Q 藤岡市において、来年度、県内初となる「学びの多様化学校」の開校が予定されているが、県の支援や取組について伺いたい。

A 教育長
藤岡市が設置を表明したことには大変心強く感じている。これまで、継続的な連絡・相談や、照会事項の確認、視察先の情報提供を行うなど、様々な支援を行っており、教職員対象の研修会や、保護者向け説明会へ県が参加することにより、今後の支援に必要な情報の把握にも努めている。今後も子どもたち一人一人に応じた学びや、安心安全な学校生活の実現に向けて積極的に支援していきたい。



秋山 健太郎　自由民主党（太田市）

▶太田市街地の渋滞対策について

Q ＡＩ解析を活用した太田市街地渋滞対策実証実験を踏まえた今後の対応はどうか。

A 県土整備部長
昨年度実施した実証実験では、渋滞情報の提供による交通分散を図った結果、大幅な渋滞緩和効果が確認されたことから、本格運用に向けて、現在、警察をはじめとする関係機関との調整を進めている。今後は、「群馬県域移動性・安全性向上検討委員会」の意見も踏まえながら、関係機関と連携し、渋滞緩和と道路交通の円滑化に取り組んでまいりたい。



後藤　克己　リベラル群馬（高崎市）

▶事業者のカスハラ防止対策への支援策について

Q 事業者のカスハラ防止対策への支援策をどのように強化していくのか。

A 産業経済部長
労働施策総合推進法の改正により、10月から事業主にカスハラ防止措置が義務化される。群馬県は、全国で最も早くカスタマーハラスメント防止条例を施行しており、また、掲示物の作成やセミナーの開催、県民労働相談センターでの相談対応など、周知啓発や実効性を高める取組も併せて行っている。今後は、他の自治体の取組も参考にしながら、より効果的な対策を研究していきたい。

9月24日（木）



井下　泰伸　自由民主党（伊勢崎市）

▶県道桐生伊勢崎線バイパスの整備効果と周辺道路の整備方針について

Q 県道桐生伊勢崎線バイパスの整備効果と周辺道路の整備方針について伺いたい。

A 県土整備部長
バイパス整備により、市街地の通過交通を環状線へ転換することで環状線内側の交通量が減少し、市街地の渋滞緩和や歩行者の安全性向上、公共交通の利便性向上につながると考える。一方、環状線外側は整備効果が限定的で交通課題もある。このうち、西小保方町交差点を「令和11年度までに着手予定の事業」としているが、その他の道路も交通上の課題を注視し、必要な対策を検討していく。



水野　俊雄　公明党（前橋市）

▶赤城山振興について

Q 赤城山全体の振興ビジョンを策定すべきと考えるが、知事の見解を伺いたい。

A 知事
赤城山全体の振興は、新たな拠点施設を活用した県立赤城公園の活性化の先にある大きなテーマであると認識している。山頂エリアで連携してきた関係者に加え、山麓エリアや周辺市町村を含む観光拠点、リトリートやインバウンド、農業振興など幅広い連携も考えられる。今後、こうした連携を促進し、一体的な機運の醸成につなげる方策を検討してまいりたい。



中島　豪　自由民主党（高崎市）

▶辻久保交差点の渋滞対策について

Q 西毛広域幹線道路と県道高崎渋川線（バイパス）が交差する「辻久保交差点」について、西毛広域幹線道路の全線開通や堤ヶ岡飛行場跡地の開発に伴う将来的な交通量増加を見据えた、今後の対策について伺いたい。

A 県土整備部長
本交差点は、朝夕の通勤時間帯や週末を中心に渋滞が発生するなどの課題があるため、現在、ライブカメラにより交通状況をモニタリングするとともに、当面の渋滞緩和に向けた検討を進めている。今後は、西毛広域幹線道路の全線開通や堤ヶ岡飛行場跡地の開発に伴う交通需要の増加を見据え、将来にわたって円滑で安全な交通を確保するための対策について、調査・検討を進めていく考えである。



大沢　綾子　日本共産党（高崎市）

▶市町村が行う施策への支援拡充について

Q 公共交通の維持・拡充の取組を進める市町村からの支援拡充の要望に応えるため、県として具体的にどのように取り組むのか伺いたい。

A DX推進監
地域内交通を取り巻く環境は厳しさを増していることから、県では市町村乗合バスの運行費補助やステーション整備支援等、財政的な支援を実施し、また調査や計画策定に関する助言等、技術的な支援も行っている。地域内交通の施策は、地域の実情を把握している市町村が主体となって進めることが基本であるが、県としても市町村間の連携促進や広域的な調整等、各地域の取組を支援していきたい。

9月28日（月）



高井 俊一郎　自由民主党（高崎市）

▶人口を呼び込むために重視すべき指標について

Q 移住希望地ランキングなどの部分的な成果に留まらず、人口動態を分析し、人口の社会増を目指すべきと考えるがどうか。

A 知事
移住希望地ランキングでは２年連続全国１位となり、移住先としての魅力が評価されたものと考えているが、住民基本台帳人口移動報告の国内移動では転出超過であり、特に進学や就職で県外転出する若者が多いことを大きな課題と認識している。人を呼び込むには、人口動態の分析結果を施策に反映し、転出超過縮小に向けた取組を強化して、社会増につなげていくことが極めて重要と考えている。



加賀谷 富士子　リベラル群馬（伊勢崎市）

▶小・中学校等における特別支援学級の充実について

Q 小・中学校等における特別支援学級の在籍児童生徒数が増加していると聞くが、特別支援教育支援員※2の配置も含めた特別支援学級の現状と今後の取組について伺いたい。

A 教育長
県では、特別支援学級における教育の充実を図るため、国に対して１学級当たりの児童生徒数の基準引下げを求める要望を行い、専門家による支援や研修の実施等により、教員や研修指導講師の資質向上にも努めている。特別支援教育支援員については、学校の実情に応じ市町村が配置しているが、県では市町村からの要望を踏まえ、必要な財政措置の充実について国へ要望し、年々拡充されている。



丹羽 あゆみ　自由民主党（みどり市）

▶クマ対策の見直し及び体制強化について

Q 農林業被害の増加や人的被害の発生を踏まえ、捕獲頭数の見直しの検討状況や、今後どのような体制でクマ対策を強化していくのか伺いたい。

A 鳥獣被害担当参事
次期「県ツキノワグマ適正管理計画」では、地域の実情に応じた対策を総合的に推進するゾーニング管理を盛り込むとともに、一律の捕獲頭数上限は設けない方向で検討している。県では、市町村が実効性のあるゾーニング計画を策定できるよう支援していく。こうした対策を、県鳥獣被害対策本部内に新たに設置した「クマ対策部会」を中心に全庁横断的に連携して進める。



狩野　浩志　自由民主党（前橋市）

▶自治会の現状と課題について

Q 自治会が、住民自治組織として本来の地域課題に主体的に取り組み、その活動を持続可能なものとしていくことが重要と考えるが、現状と課題について伺いたい。

A 総務部長
自治会は、地域コミュニティを支える重要な役割を果たしているが、加入率の低下や担い手の不足、高齢化により、活動の持続可能性が課題となっている。活動内容や行政からの依頼業務を見直すとともに、ＮＰＯ、企業、学校など多様な主体が連携し、地域全体で支え合うことが重要である。県は、取組事例の共有などを通じて市町村を支援し、持続可能な地域コミュニティづくりにつなげていく。

※１　学びの多様化学校…不登校児童生徒の実態に配慮して特別の教育課程を編成し、教育を実施する学校。（2023年８月31日に「不登校特例校」から改称）
※２　特別支援教育支援員…教員等と連携して児童生徒の日常生活上の介助を行う市町村採用の職員。

若者の政治への関心を高める取組

現在、若年層の投票率は他の年代と比べて低い水準にとどまっていることから、群馬県議会では、議員が学生と意見交換をする取組を行うなど、主権者教育に力を入れています。

議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～

６月 25 日(木)、県議会議員が大学を訪問し学生と意見交換を行う「議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～」を開催しました。

当日は、加賀谷富士子議員と亀山貴史議員の 2 名が関東学園大学を訪れ、39 名の学生との間で、活発な意見交換を行いました。

議員と学生が直接対話する貴重な機会となり、参加した学生からは政治への関心の高まりをうかがわせる多くの意見や感想が寄せられました。


加賀谷 富士子 議員


亀山 貴史 議員


会場の様子

ぐんまシチズンシップ・アカデミー

第３回前期定例会中の９月 18 日(金)に、「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催し、県内の５大学から 19 名が参加しました。

大学生の皆さんは、本会議を傍聴した後に県議会議員と積極的に意見交換を行い、政治や議会への関心を深めました。

【参加大学】県立女子大学、県立県民健康科学大学、高崎経済大学、関東学園大学、群馬医療福祉大学


意見交換の様子

参加学生の感想

●高崎経済大学３年　鈴木（すずき） 灯（あかり）さん

議員や議会には堅いイメージを持っていましたが、実際に意見交換をしてみて、議員や議会をより身近に感じることができました。良い意味で、これまでのイメージが変わりました。

●関東学園大学１年　飯田（いいだ） 泰成（ひろあき）さん

今回の経験を通じて、政治をより身近に感じ、もっと関心を持つようになりました。これからは、選挙にも積極的に足を運び、自分の意思で一票を投じたいと思います。

参加議員の感想

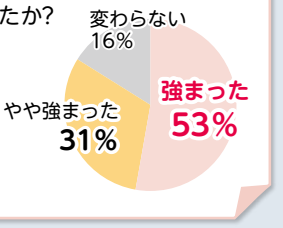
●議会基本条例推進委員会
追川 徳信 副委員長

今回の意見交換を通じて、若い世代の皆さんに政治をより身近に感じてもらうため、私たち議員がこれまで以上に努力していく必要があると改めて感じました。一人ひとりの一票が時代を動かし、自らの思いを政治に届ける力になることを、今後も伝えていきたいと思います。

参加者アンケート

Q 「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」への参加を契機に、選挙に行くべきとの気持ちが強まりましたか?

A 参加者の84%が、「強まった」「やや強まった」と回答しました。



全員協議会を開催しました

副首都への立候補に係る県の対応状況について、議員間の情報共有を図るため、９月17日(木)に全員協議会を開催し、県執行部に説明を求め、質疑を行いました。


全員協議会の様子

議会図書室について

一般の方もご利用いただけます。

◇場所　議事堂1階南側（前橋市大手町1-1-1）
◇利用時間　平日の午前８時30分から午後５時15分まで
◇図書・資料の貸出し
　期間：２週間　冊数：３冊以内
◇注意事項
　群馬県議会図書室は地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究のため、設置されています。議員の利用を妨げない範囲での利用になります。学習での利用はご遠慮ください。



群馬県議会ホームページには、新着図書案内も掲載しています。ぜひご覧ください。

Information

県議会だより電子書籍版（カタログポケット）は、スマートフォンや、タブレット端末等でご覧になれます。音声読み上げ機能（10言語）にも対応しています。閲覧方法は、こちらからご確認ください。

過去の県議会だよりは、こちらからご覧ください。

県議会ホームページ　群馬県議会　検索
県議会の最新情報は公式 SNS でも発信しています。

X　Facebook　Instagram

群馬県議会YouTube
群馬県 YouTube 公式チャンネル tsulunos

■「県議会だより」は年４回発行しています。次号は、令和９年１月１日(金)発行予定です
■「県議会だより」のご意見については、政策広報課へお寄せください
☎ 027-898-2891　FAX 027-221-8201　giseisaku@pref.gunma.lg.jp

会派名変更のお知らせ
群馬維新の会　→無所属の会（令和８年９月15日）

令和８年第３回後期定例会のご案内

会期は11月20日から12月11日までの予定です。

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。
本会議・委員会は、どなたでも傍聴することができます。

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
11月20日	金	本会議（後期開会・提案説明）	12月３日	木	常任委員会
26日	木	本会議（質疑及び一般質問）	４日	金	
27日	金		８日	火	特別委員会
12月１日	火		11日	金	本会議（委員長報告・議決・閉会）

※会期は予定ですので、変更される場合もあります（開会はおおむね午前10時からです）

■ 県議会中継

テレビ　群馬テレビ 午前10時～〈生中継〉
本会議（質疑及び一般質問）をご覧いただけます。

インターネット　県議会ホームページ【議会中継】（生中継・録画）
(https://gunma-pref.stream.jfit.co.jp/)
本会議（全日程）と決算特別委員会総括質疑をご覧いただけます。

スマートフォンでの視聴はこちらから↑